

氏名： 守谷 智美 (MORIYA Tomomi)
所属： 教育事業部 (コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応)
学位： 言語文化修士
職名： アソシエイトフェロー
専門分野： 日本語教育、異文化間教育
E-mail： moriya.tomomi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

日本語教育／異文化間教育／異文化間コミュニケーション／コミュニティ心理学
Japanese Language Teaching / cross-cultural education / cross-cultural communication /
community psychology

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・守谷 智美 (2008、印刷中)「中国人研修生の日本語学習意欲と研修環境の認識との関連 —実務型研修における日本語教育への示唆—」コミュニティ心理学 11(2)
- ・加賀美常美代、守谷智美、岩井朝乃、朴志仙 (2008、印刷中)「韓国における子どもたちの日本イメージの形成過程—9分割統合描画法による分析から」異文化間教育 28号
- ・岩井朝乃、朴志仙、加賀美常美代、守谷智美 (2008、印刷中)「韓国『国史』教科書の日本像と韓国人学生の日本イメージ」言語文化と日本語教育第 35号
- ・石塚美絵・宮副ウォン裕子・守谷智美 (2008、印刷中)「メディア・リテラシーを育てる『現代大衆文化』—参加者の多様性・多文化理解を促す本後授業実践—」桜美林大学教育論叢第 5号
- ・宮副ウォン裕子・石塚美絵・守谷智美 (2008、印刷中)「参加者の多文化・多言語背景をリソースとして生かした授業実践—メディア・リテラシーの育成を目指す『現代大衆文化』—」ヨーロッパ日本語教育シンポジウム報告集

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 研修生を対象とした実務型研修における日本語教育支援
2. 留学生を対象とした日本語教育支援

◆教育内容 / Educational Pursuits

- ・日本語上級レベルの留学生を対象とした「現代大衆文化」、読解、口頭表現
- ・学部留学生に対するアカデミック・ライティング

◆研究計画

1. アジアにおける日本語学習動機・学習意欲に関する研究、特に現代大衆文化との関連の観点からの分析
2. 技術研修生に対する実務型研修における日本語教育支援の可能性